

「暮らしやすいまちってどんなまち？～再配置シミュレーションゲーム」

■ よりよい話し合いのために ～3つの約束～

- ① まず、「傾聴」。人の話をしっかり聞きましょう。大声や大演説はNGです。
- ② 口より手を動かして
…できるだけカードやシートなど「記録」に残しましょう。
- ③ 人の意見を否定しない。
…して＝「要求型」ではなく、…しようよ！＝「提案型」で

■ ワークの流れ

1. 4つの窓に書いた「暮らしやすいまち」のポストイット（ふせん）を読み上げながら、順にワークシートに貼ります。



2. 全員の意見を見比べながら、グループでひとつの「まちづくりキーワード」にまとめ、水性ペン（プロッキー）の太字で大きく書きます。



3. 「江南市の公共施設の現状と課題」と「まちづくりキーワード」を踏まえ、ワークシートに描かれた江南市の「仮想地区」に対して、公共施設のコスト削減をめざします。



4. コスト削減目標とルールを確認します。

※ルールシート（3 ページ）をご参照ください。



5. 各施設カードを確認し、施設の方針及び削減するコストを計算します。



6. 対応方針が決定できた施設カードに必要事項を記入し、ワークシートに貼ります。



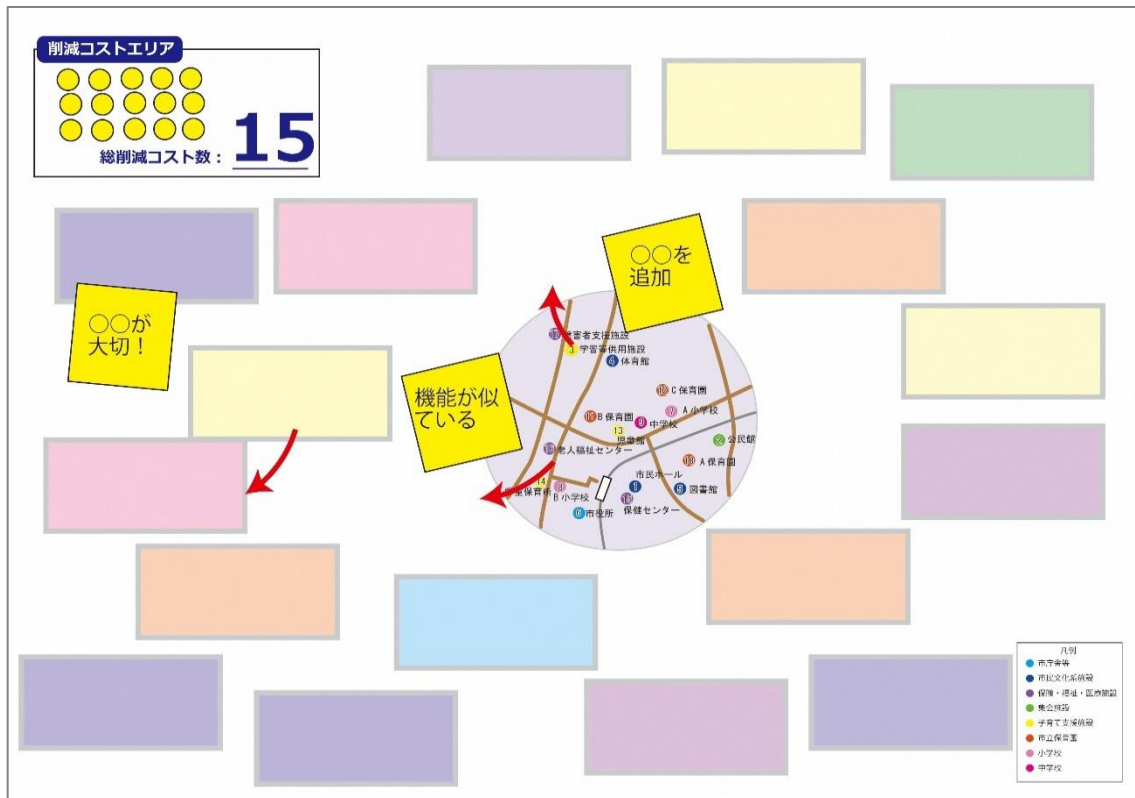
7. 必要に応じてワークシートにコメントや矢印などを書き込みます（ワークシートへの直接記入またはポストイットを使用）。

例）対応方針を決定した理由、複合の場合は新たに付け加えたいサービスの内容 など

▼ワークシート①（A2）

▼施設カードの記入イメージ

▼ワークシート②への記入イメージ（A0）



8. シミュレーションゲームを踏まえ、公共施設の再配置検討にあたり「大切にしたい視点（最大3つ）」を抽出し、A3フリップボードに水性ペン（プロッキー）の太字で大きく書きます。

フリップボード（A3）⇒

グループ発！公共施設の再配置検討にあたり「大切にしたい視点」は？

☆

☆

☆

■発表

「A0ワークシート」「A3フリップボード」を使い、グループ毎に話し合った内容を2分程度で発表します。

- ・グループの中で悩んだこと
- ・イチオシ！の複合施設
- ・削減のために、特に工夫したところ など

参加者の皆さんと共有したいことを自由に発表しましょう。

■おわりに

長時間のワークショップお疲れ様でした！

最後に「ひとことアンケート」の記入をお願いします。記入したアンケートは回収BOXに提出をお願いします。

■ルールシート

＜ポイント＞

- ・公共サービスの「質」を保ちながら、どのように「量」を減らすことができるのかを共通の視点として考えましょう。
- ・施設カードの内容や施設の配置状況をみながら考えてみましょう。
- ・自分のことだけでなく、お子さんやお孫さんが暮らしやすいまちを想像しながら取り組みましょう。

＜設定時期と江南市の状況＞

- ・20年後を想定します。
- ・人口は90,700人（現在より7,500人（約8％）減少）となっています。
- ・約3人に1人が高齢者です。

＜削減するコストの目標＞

シール **15～20** 枚

＜コスト削減のルール＞

削減したコストは、ワークシートの「削減コスト」エリアに貼っていきましょう。

削減のルールは以下のとおりです。

「継続」 コストはそのまま

「廃止」 コストを全て削減！

「減築」「複合」は、施設の総コストに応じて以下のルールで削減！

※廃止：解体や民間譲渡によりコストが不要となること

減築：改修や建替えによって既存の施設規模より小さくすること

複合：施設を集めること。3施設以上の場合も有り得る。

**複合する施設は
それぞれ削減！**

総コスト	減築時削減コスト	複合時削減コスト
3～5	－1	－2
6～8	－2	－3
9、10	－3	－4

全てが大切な公共施設です。

ただし、全てを維持していくことが難しい時代になってきています。

できれば前向きに、

「複合した施設はどんな施設になっていくと良いか？」

「廃止した地域にどんなフォローが出来るか？」

などを考えながら、コスト削減をめざしていけるとよいですね。